

安心と笑顔のために

日本共産党札幌市議団ニュース

No. 312 2023年6月16日

日本共産党札幌市議団 事務局 TEL 211-3221 / fax 218-5124

市民が住みやすいまちへまちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉初審査

6月12日 総務委員会 田中啓介委員

札幌市では、市民、企業、行政などの多様な主体が札幌市の目指すべきまちの姿とまちづくりの方向性を共有し、共に取り組んでいくために、次の新たな100年の礎となる今後10年のまちづくりの基本的な指針として、「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン」を作成しています。田中市議は、主に行政が優先的・集中的に実施すべきことを記載した「第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン〈戦略編〉」のうち、主に生活指標やデジタル改革について質問しました。

生活指標では「当事者から見たバリアフリー」と「正規雇用の確保」について質問。市の担当者は「当事者の声に特化した現状把握にも取り組んでいこうというふう考えている」、「今後策定する中期実施計画や個別計画は、例えば市民の就業率といった客観的な指標を立てていく必要があると考えている」など、前向きな回答でした。

デジタル改革については「問題が次々に明らかになっているマイナンバーカードの普及ではなく、情報漏洩に対してどのように取り組むのか」と質問。市の担当者は「市民にとって利便性の高い行政サービスを提供するためにはマイナンバーカードの普及利活用などの取り組みを推進していく必要がある。また、個人情報保護、セキュリティ強化、デジタルデバイド対策などにも当然ながら取り組んでいくつもりでございます」と、マイナンバーカードの問題そのものには触れませんでした。

大通り公園周辺の景観を守れ

6月12日 総務委員会 田中啓介委員

札幌市では、「都心のまちづくり」の計画として、大通りを「大通(はぐくみの軸)のまちづくり」としています。大通りは、札幌のまちを形成する根幹となる歴史を備える東西軸として魅力を高めていくことが重要であり、都心まちづくりを進める上で極めて重要な都市の骨格軸としています。そのため、「はぐくみの軸強化方針」を策定し、今回総務委員会で質疑が行われました。

田中市議は「大通り周辺が再開発されることで、山の稜線がビルによって寸断されて景観が悪化したり、大通り公園がビルの日陰になってしまうことで魅力が低下するのではないか。高度制限がない区域もある。」と質問。市の担当者は「大通り公園は札幌を代表する景観資源の一つであり、大通り公園と沿道建物との景観的な調和は重要な課題。」と認識しながらも、「大通りおよびその周辺で高さ制限のないこうした区域におきましては、新たにあらかじめ高さ制限を定めておくのではなく大通り公園や隣接建物を意識して、建物の配置や意匠等を工夫する。その結果ふさわしい高さについても議論し、定めた結果として健全な高度利用と良好な景観形成の両立を誘導するということが重要」と今後の話し合い次第であると答弁しました。

田中市議は最後に「大通り公園に来る人が本当に安全で、ここにいてまた歩きたくなるということ。札幌市民として他の町に誇れる、世界に誇れるということ。緑を軸に、車中心ではなく、人を中心に進めていただきたい」と求めました。